

やまちゅうスクエア

吹田市立山田中学校 学校だより 令和6年度 第9号

「少しの頑張りが大きな成果に」

校長 小早川 靖樹

今年の干支である「巳」は十二支の一つで、蛇を表す漢字です。「巳」は胎児の形から派生した文字で「産まれてくる」「将来・未来がある」といった意味があります。脱皮をする蛇のイメージから巳年は「復活と再生」を意味します。植物に種子ができてはじめる時期、次の生命が誕生する時期など、新しいことが始まる年になると言われています。また、「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」年とも言われるようです。

3学期の始業式では「8時25分のチャイムを教室で聞く」など、簡単なことでも目標を立てて、それを継続する大切さ「継続は力なり」について話しました。それに加えて、みなさんに『1.01』と『0.99』の「法則」の話を紹介したいと思います。

1.01は1より少しだけ大きいですね。それに対し0.99は1よりわずかに少なく、その差はたった0.02しかありません。少しだけ頑張ったことを1.01、ちょっとだけ頑張れなかったことを0.99としたとき、1日ではたった0.02の差しかありませんが、1年(365日)になるとどうでしょう。1.01の365乗は37.8。逆に、0.99の365乗は0.03。1年間ではなんと1260倍の差がつく計算になります。

これはどういうことかという、英単語を3つ覚えるなど毎日少しだけ頑張ると、1年後には37.8倍に成長した自分があることになります。一方、ゲームなどの時間が少し増えたりしてマイナスになると0.03倍の成長、つまりほとんど成長しないことになります。

この話は「成功のコンセプト」という本に記載されている内容で、要約すると1.00を普段の自分として考えた場合、1.01のようなちょっとした努力や成長でも、365日積み重ねると大きな力になるということです。逆に0.99のようにちょっとでもサボってしまうと、積み重なって何も生み出さないことになるという教えます。

今年は巳年(みどし)、新しいことを始める絶好の年です。大きな目標を立てることができた人は、それに向かって努力してください。なかなか目標を立てることができなかった人は、少しの努力でできることを目標にしましょう。毎日ほんのちょっとの努力で結構です。頑張ってみませんか?1年後にはそれが実を結んで大きな成果を得ることができると思います。みなさんがそれぞれの目標に向かって努力し、頑張る姿を楽しみにしています。山中生頑張れ~!

<山田中学校ブロック(山田中、山五小、南山田小)のめざす子ども像>

1 あいさつのできる子 2 最後までやりとげる子 3 自分の思いを伝えられる子

避難訓練

1月17日(金)6限目、地震を想定した避難訓練を実施しました。今から30年前の1995年1月17日、阪神・淡路を中心に大きな被害をもたらした阪神淡路大震災。その後も、日本各地で大きな被害をもたらす地震が起きています。この先も「南海トラフ」を中心とした大規模な地震発生の可能性が高くなっていると言われています。

いつ、どこで起きるかわからない地震。過去の経験から得た教訓をいかし、わたしたちは自らの命を守り、周囲の人たちの命も守り、被害を最小限におさえることが大切になります。“備え(準備)”をすることが被害を最小限におさえることにつながります。

今回の避難訓練では、そういった意味や思いを理解し、生徒は真剣に臨んでいました。学校、各家庭、地域やその他の場所で、地震が起きたその時その場所で、自分の命を守るために状況を見極め、判断し、行動する。1月17日という日が、改めて地震に対する“備え(準備)”を考えるきっかけの日になることを願います。

山中生の素敵な姿

2学期末から冬休みにかけてのこと。

毎学期末、学校では大掃除を行っています。1学期に続き、2学期も同様に大掃除を行いました。生徒の皆さんは普段使用している教室の掃き掃除に窓拭き、開放廊下や特別区域など、気温も低く冷たい風が吹く中でしたが、丁寧に掃除してくれていました。

また、2学期末から冬休みにかけては、各部活動で、体育館の周囲や倉庫、特別教室や廊下、グラウンドの倉庫掃除や側溝の土あげ、道具の点検や手入れなどをしてくださいました。物や場所を大切にしてくれている姿に感心し、嬉しい気持ちになりました。3学期の始業式で、感謝の思いを伝えさせてもらいました。

そんな物や場所を大切にできる気持ちが、人を大切に思う気持ちにつながるのだと感じました。素敵な山中生、最高です。

ご確認をお願いします。12月25日配信のさくら連絡網でお伝えいたしました内容です。

卒業式:令和7年3月14日(金) 修了式:令和7年3月24日(月)